

濁度計について

現在、多くの現場で使用している濁度計について、出水の無い平常時においても太陽光により観測値が大きな値を示すなど、異常値が多く観測されています。これらの場合、下記のような対応が考えられますのでご参照ください。

太陽光の影響により、非出水時においても濁度計の観測値が大きくなる場合があります。その場合の有効な対策として、濁度計に内側を黒塗りにした保護カバーを設置する事例を挙げさせていただきます（図-1）。保護カバーを設置しない場合、設置した場合の観測値はそれぞれ図-2、図-3のように示されます。保護カバーを設置した場合は出水時に観測値が大きくなる傾向が明瞭に見られ、主として水中の濁りに反応しているものと考えられます。

保護カバー内部
は黒色に着色



保護カバーの制作費：15万円

図-1 鹿塩川の濁度計と保護カバー設置例

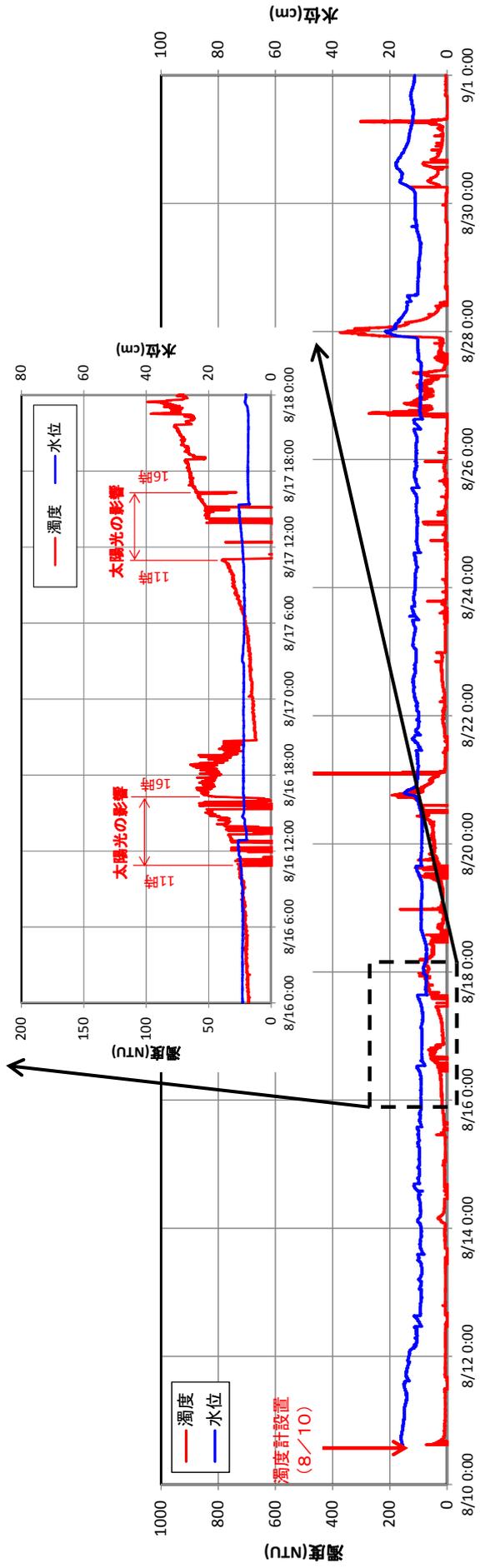


図-2 鹿塩川濁度計観測結果（濁度計保護カバー無し） 8/10～9/1

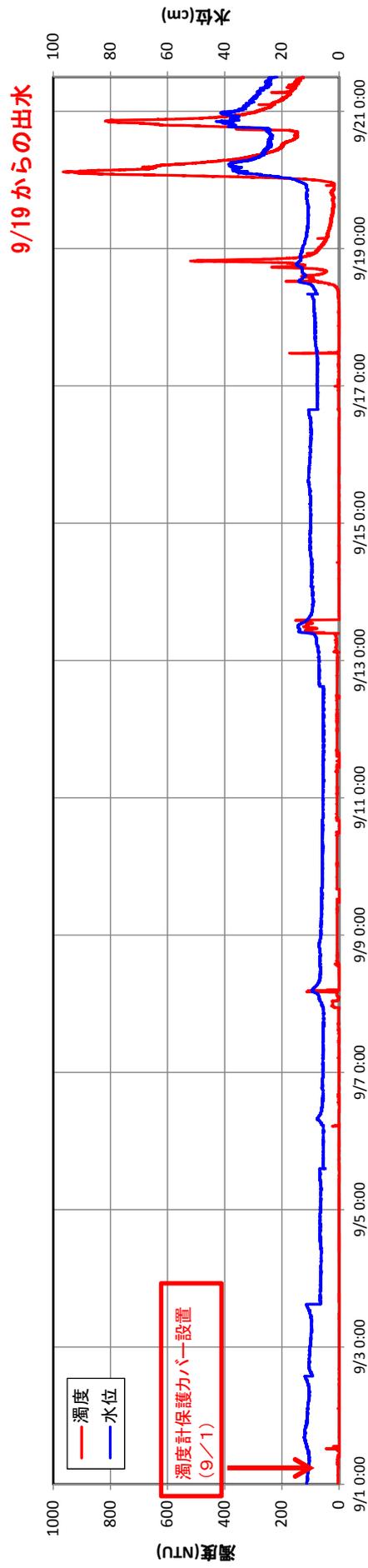


図-3 鹿塩川濁度計観測結果（濁度計保護カバーあり） 9/1～9/21